

事業報告書 団体名:社会福祉法人ともかわさき

事業名	パラアート絵画教室「アトリエひらま」
【計画時の事業目的(取組課題)と実施効果】	
障害のあるなしに関わりなく参加できるパラアート絵画教室をなかはら障害福祉施設ひらまで開催する。	
実施時期:令和3年7月・9月・11月・令和4年1月・3月のひらま開所日の土曜日	
実施場所:なかはら障害福祉施設ひらま内(川崎市中原区上平間 1564-12)	
対象者 :障害福祉サービス事業所利用者、幸区中原区在住の障害者及び健常者	
参加方法:公募(1回20名程度)	
周知方法:チラシ(200枚/1回)を事業所および近隣の放課後デイや新川崎タウンカフェ等で配布 相談交流ひらまの SNS 地域広報紙等の媒体で発信	
講師 :NPO 法人 StudioFLAT 理事長ほか外部講師	
補助者 :社会福祉法人職員、地域ボランティア	
コロナ対策:教室開催前・終了後に消毒(使用教室内、机、椅子、床、トイレ等)、 参加者把握(住所連絡先)、検温、手指消毒	

【実施結果】	
障害のあるなしに関わりなく参加できるパラアート絵画教室「アトリエひらま」をなかはら障害福祉施設ひらまで7月・11月・12月・1月・2月の5回開催しました。開催月は新型コロナウイルス拡大の影響で変更もありましたが計画の5回の開催ができました。	
■第1回「アトリエひらま with FLAT」 開催日:7月3日(土)10時から12時 開催場所:なかはら障害福祉施設ひらま多目的室 参加者:17人+付添2人 講師:NPO 法人 StudioFLAT 理事長 概要:最初に参加者みんなで大きなキャンパスに思い思いに描き上げて大きな作品をつくりその後は様々なサイズのキャンパスが用意されていたのでいろいろな作品ができあがりました。大きな作品は、武蔵新城のCHILLで開催されている「FLAT×CHILL SDGsなアート展」に展示されました。個々の作品はイーゼル型スタンド付きでお持ち帰りや“Colors かわさき展”作品応募希望となりました。 10月開所予定の就労支援事業所おおしま職員の方も見学参加されていました。	
■第2回「アトリエひらま with FLAT」 開催日:11月6日(土)10時から12時 開催場所:なかはら障害福祉施設ひらま多目的室 参加者:8人+付添4人 講師:NPO 法人 StudioFLAT 理事長 概要:コロナの状況下で中止となっていました、11月より再開しました。参加者は少なかったですが、パラアート絵画への取り組みを楽しんでいただきました。今回は Colors かわさき展の展示物に貼る「炎」の絵をまず一人ひとりが描いて切り取りました。コロナ感染予防として、1机に1人の配置とするなどの対応をしました。	

■第3回「アトリエひらま with FLAT」

開催日：12月4日(土)10時から12時

開催場所：なかはら障害福祉施設ひらま多目的室

参加者：15人+付添5人

講師：NPO 法人 StudioFLAT 理事長

概要：新型コロナの感染状況も改善されてきた頃で、また多くの皆さんに参加いただけました。小さなお子さんたちも思い思いにキャンパスに色をつなげて作品ができました。自ら作品の発表も愉しくできました。

■第4回「アトリエひらま with FLAT」

開催日：1月8日(土)10時から12時

開催場所：なかはら障害福祉施設ひらま多目的室

参加者：14人+付添6人

講師：NPO 法人 StudioFLAT 理事長

概要：新年早々の開催でしたが多くの参加者がありました。麻生区からも参加もあり教室が浸透してきたようです。講師から寅年にちなみトラのめり絵を皆さんに配り好きな色で描いた後、キャンパスや紙に絵を描きました。最後に作品を発表してパラアート教室を愉しんでもらえました。

■第5回「アトリエひらま de アルコールインクアート」

開催日：2月4日(土)10時から12時

開催場所：なかはら障害福祉施設ひらま会議室

参加者：5人

講師：はなうた図工室

概要：再び新型コロナウイルス拡大の状況なり十分な感染対策と規模を縮小して開催することになりました。参加者も応募いただいた半分以下でした。

アルコールインクと特殊な紙と風(ファン)を使った内容でした。まず、アルコールインクアートの動画を見てやり方を知ってから配布したアートセットと手動ファンを使用して参加者の皆さんが作製に取り組みました。作品完成後には自己紹介と作品紹介をしました。とても楽しかったとのことで、ご自宅でもアートができるように配布の用具はお持ち帰りいただきました。第5回は講師を変えて新しいパラアートにも親しんで愉しんでもらえたと思います。

■参加者公募

チラシ(200枚/1回)を作製して事業所、近隣の放課後デイに配布しました。法人製品を販売している新川崎タウンカフェにも置いていただきました。

ともかわさき「相談交流ひらま」の開設しているSNSで発信しました。

文化財団のぱらあーとねっとや地域広報紙等の媒体でも発信しました。

■講師陣

NPO 法人 StudioFLAT 理事長にご協力いただき計4回、はなうた図工室に1回講師を依頼できました。計画ではいろいろな方に講師を依頼する予定でしたがコロナ禍でともかわさきパラアート教室で講師をしていただいている方に依頼となっております。

■補助者

社会福祉法人ともかわさき職員と地域ボランティアの方さらに参加者の施設職員や付き添いの方など補助者にも参加いただきました。

■新型コロナ感染対策

新型コロナの感染状況が変化する中、状況に適應する対策を講じて開催するとともに、教室の中止・延期の対応を行いました。

開催時には、教室受付入室時に検温、手指消毒、マスク確認。

使用室内の消毒、机、椅子、床、トイレ等の前後での消毒を行いました。

室内の床にはシート、机にはビニールを巻いて使用後は破棄しています。

参加者の距離を確保して大声の会話はしない。

参加者の連絡先確認をしています。

【実際の効果と課題】

【事業目的(取組課題)の達成】

1. アート活動を通じた自己表現を実現する

→参加者一人ひとりが自由にアート活動と向かい合って何かを表現できていた。

2. 障害のある人、ない人が一緒に参加する

→事業所の利用者と公募参加(障害のあるかたも)、子どもから大人まで幅広い参加者に恵まれた。

3. アート活動を行うことで楽しい時間を過ごす

→2時間の教室だが参加者アンケートでも参加して面白かった100%でした。感想記入にも楽しかった面白かったまたやりたいなどアート活動を愉しんでもらえた。

4. アート活動で地域との交流を行い施設への理解を促進する

→最初の教室応募者はチラシや SNS が多かったがその後は紹介や前回参加したなど参加者の広がりがあり、なかからは障害福祉施設ひらまでの交流・理解もひろまった。

【実施の効果】

概ね1から4の効果目標は達成できました。新型コロナウイルス拡大の影響を受けて当初の計画どおりの実施状況とはならなかったが教室の認知度も高まり来年度の参加を希望される方が多くいました。

1. 「Colors かわさき展」に出展できました。ともかわさき主催の「まちかどパラアート展」にも出展できました。ただ絵を描くだけでなく誰かに見てもらえるという参加者への効果もありました。

2. 参加者は原則公募しています。事業所で申し込むケース、放課後デイサービスからの利用、中原区を中心の参加申し込みでしたが、川崎市や麻生区などからの参加者もいらっしゃいました。年齢は子どもから大人まで幅広く参加いただきました。

3. 参加者のアンケートでは参加して面白かった100%でした。感想記入でもまた参加したい、またやりたいとの記入が多々あり、教室後にも保護者付き添いの方から次も参加したいがいつですかとお声も多くいただきました。

4. 中原区の方に多く参加していただきなからは障害福祉施設ひらまを知っていただく機会となりました。また SNS など発信いただき認知度も高まりました。教室開催時に地域ボランティアの方にも参加していただいています。

○社会福祉法人ともかわさきでは、地域における公益的取り組みとしてパラアート活動に取り組んでいます。絵画活動の成果を活かす「まちかどパラアート展」を開催し、川崎の街中でパラアートの魅力を紹介することで障害のあるなしに関わらず愉しんでいただく機会を提供して多様性を許容する地域社会を目指したいと思っています。